

平成29年度 海洋教育のデザイン

1. 学校名 市川市立妙典小学校

2. 活動テーマ 守ろう！ぼくらのふるさと 江戸川・三番瀬

3. 実践の概要

- ・体験活動や人との関わりを通して、児童に川や海洋の自然の豊かさを感じさせながら学習を進めた。
- ・児童が江戸川、その先に広がる東京湾に関心を持ち、そこに生きる生物の生命やそれを支える環境の大切さに気づくように学習を進めた。

4. 実践のねらい

- ・川や海に棲む生物や環境、それらの保護に携わる人々について知り、身の回りの自然や生命に関心・愛着を持つ。
- ・川や海に棲む生物や環境について調べる活動を通して環境や生命の大切さ、尊さに気づく。

6. 実践計画

(1) テーマ 守ろう！ぼくらのふるさと 江戸川・三番瀬（5学年）

(2) 概要・活動計画・他教科との関連

- ・総合的な学習の時間に干潟での生き物調査を複数回行う。
- ・学校の近くの江戸川から東京湾クルーズを行うなどの体験活動を通して、児童の五感に訴え、海やそこに広がる自然の豊かさを身近に感じさせながら学習を進める。
- ・外部の専門家を招いて一緒に活動したり、お話を聞いたりする機会を多く持つ。自分たちの活動だけでは気づかない事柄に出会うことでより深い学びの実践を目指す。
- ・学習の最後には、江戸川やその先に広がる海に愛着を持ち、そこに生きる生物やそれを支える環境を守るために自分たちができることを考え、まとめる。
- ・総合的な学習の他にも、社会科の「水産業」で、市川市で行われている海苔の養殖などの漁業について学習する。また、理科では「生命のつながり」の発展として、江戸川の生物を飼育し、観察する活動を行う。

(3) 実践の評価

- ・学習中の児童の様子、1年間の活動内容を学級・学年でふり返り、実践の成果と今後の課題を明確にする。

7. 今年度の実践

(1) 3学年における実践 「江戸川ふしぎ発見隊」

- ①妙典の町探検をし、地域の様子を知る。(社会科)
- ②江戸川の河川敷を見学する。(総合)
- ③江戸川で生き物探しをする。(総合)
- ④江戸川で生き物について詳しく調査し、図鑑づくりをする。(総合・国語)
- ⑤千葉県ウエットランドガイドの方々と江戸川で生き物調査を行う。(総合)
- ⑥夏休みに江戸川についての個人研究を行う。(課外)
- ⑦夏休み後に個人研究発表会を行う。(総合)
- ⑧市川市動植物園・船橋三番瀬環境学習館の出前授業を行い、江戸川の歴史や生物についてさらに知る。
- ⑨これまでの活動をもとにして学級ごとに今後の学習課題を設定する。(総合)
- ⑩学級の課題に応じて調査を行う。(トビハゼの生態調

査、江戸川の水質調査、江戸川の歴史調査、江戸川のゴミ調査) ⑪学級の課題に応じて江戸川で釣りをしている方、河川敷で散歩をしている方、近隣の保育園、昔の江戸川を知る地域の方、遊船屋さん等にインタビューをしてさらに情報を集める。(総合) ⑫海苔すき体験(社会科)、江戸川・三番瀬のクルージング(総合)を通して江戸川、海のよさを体感する。⑬これまでの活動をもとにして自分たちにできることを考えて実践する。(総合)

(2) 5 学年における実践 「いのち～小豆クラブ～」

①インゲン豆、トウモロコシ、イネを育てる。(理科) ②絶滅危機に瀕した植物が多くあること、その原因が河川工事にあることを知る。(国語科) ③メダカの飼育をする。(理科) ④地域の和菓子屋さんとの関わり(4 学年時)から、小豆を育てる。(総合) ⑤地域の和菓子屋さんを訪問し、小豆の育て方に関する情報を集める。(総合) ⑥江戸川・三番瀬のクルージングを通して江戸川、海のよさや命の存在を体感する。(総合) ⑦夏休みに小豆についての個人研究を行う。(課外) ⑧夏休みに交代で小豆の世話をする。(課外) ⑨夏休み後に個人研究発表会を行う。(総合) ⑩江戸川の干潟で生物探しをする。(総合) ⑪市川市動植物園の出前授業を行い、江戸川に棲む生物について詳しく知る。(総合) ⑫地域の魚屋さんによるカツオ・スズキの解体の様子を見学する。(社会科) ⑬小豆を収穫し、調理する。(赤飯・餅・団子・お汁粉・パンなど)(家庭科・総合) ⑭千葉大学生と協力して原種のカブを栽培し、種を採取することで本来の植物のあり方を知る。(総合) ⑮アクアパーク品川を見学し、海に棲む生物について知る。(社会科校外学習) ⑯これまでの活動をもとにして、「命」についての考えをまとめる。(総合)

(3) 実践の成果

①海洋教育の視点から

- ・人が生活する中で海洋が果たす役割の重要性や、海の壮大さを教員が感じることにより、各教科の授業の際に、海洋との関連を意識して指導するようになった。海洋を軸として、各教科間の関連を意識して指導することが増えた。
- ・身近にありながら気づかなかった江戸川と東京湾の地理的な環境や生物の生態について、子どもの関心・意欲をもとに総合的な学習の時間を活用して探究することができた。
- ・専門家の方々の出張授業等を行い、江戸川、東京湾の歴史や現在直面する課題について詳しく学ぶことができた。

②児童生徒の変容の視点から

- ・各教科等で学習した内容に関連があることに児童が気づいた。学習内容に共通していることは、自然を守っていくことの重要性であり、「自然を豊かにしていきたい。」と考える児童が増えた。
- ・江戸川に対する興味、知識が少ない児童が多かったが、江戸川の自然の貴重さ・大切さに気づき、進んで問題解決に取り組む姿が多く見られた。
- ・自然の大切さ、生物の貴重さ、江戸川に対する地域の人々の思いを知り、「自分たちも江戸川の自然を大切にしていきたい。」「江戸川のすばらしさを人々に知ってもらいたい。」と考えを持つようになった。

③教職員や保護者の変容や地域との連携の視点から

- ・地域の機関、企業と連携して授業、活動を行うことができた。また、江戸川で釣りをしている人、散歩をしている親子、昔からの江戸川を知る方、近隣の保育園職員などに質問し、それぞれの立場から見た江戸川に対する思いや願いを聞くことができた。教員も江戸川に関する知識を深めることができた。
- ・休日に江戸川に行き、家族でカニ探しやハゼ釣りをするようになった家庭が増えた。

(4) 次年度への課題

- ・研修プログラムに参加した教員は海洋教育の重要性を理解し、活動しているが、他の教員が同様に海洋教育を実践していくことが難しい。校内・校外研修のための時間を確保することが困難であった。
- ・江戸川に行き干潟に入る際、引率教職員の十分な確保が難しかった。
- ・江戸川は潮の満ち引きがあるため、干潟で活動することができる日時が限られる。また、トビハゼは寒くなると冬眠を始めるため、なかなか見られなくなる。計画的に学習を進めることが必要になる。

8. 主な連携期間及び内容

(1) 千葉県ウエットランドガイド

江戸川，三番瀬及びそこに棲む生物に関する講演，生物調査

(2) 市川市動植物園

江戸川，三番瀬に棲む生物に関する講演

(3) 船橋三番瀬環境学習館

江戸川，三番瀬の歴史や生物に関する講演

(4) 有限会社伊藤遊船

江戸川，東京湾のクルージング（洋上見学）及び従業員へのインタビュー

(5) 市川市魚食文化フォーラム実行委員会

海苔漉き体験学習

(6) 社会福祉法人杉の木会妙典保育園

江戸川周辺の環境に関する従業員へのインタビュー

(7) 有限会社匠水産

カツオ・スズキの解体見学

(8) マクセルアクアパーク品川

水族館の見学

守ろう！ぼくらのふるさと 江戸川・三番瀬 ～第3学年「江戸川ふしぎ発見隊」～

市川市立妙典小学校

活動のねらい

- ・川や海に棲む生物や環境，それらの保護に携わる人々について知り，身の回りの自然や生命に関心・愛着を持つ。
- ・川や海に棲む生物や環境について調べる活動を通して環境や生命の大切さ，尊さに気づく。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
課題に ふれる つかむ	①妙典の町探検をし，地域の様子を知る。(社会科) ②江戸川の河川敷を見学する。(総合) ③江戸川で生き物探しをする。(総合)											
追究 する		④江戸川で生き物について詳しく調査し，図鑑づくりをする。(総合・国語) ⑤千葉県ウエットランドガイドの方と江戸川で生き物調査を行う。(総合)	⑥夏休みに江戸川についての個人研究を行う。(課外)	⑦夏休み後に個人研究発表会を行う。(総合) ⑧市川市動植物園・船橋三番瀬環境学習館の出前授業を行い，江戸川の歴史や生物についてさらに知る。	⑨これまでの活動をもとにして学級ごとに今後の学習課題を設定する。(総合) ⑩学級の課題に応じて調査を行う。(トビハゼの生態調査，江戸川の水質調査，江戸川の歴史調査，江戸川のゴミ調査)	⑪学級の課題に応じて江戸川で釣りをしている方，河川敷で散歩をしている方，近隣の保育園，昔の江戸川を知る地域の方，遊船屋さん等にインタビューをしてさらに情報を集める。(総合)						
まとめ 生かす											⑫これまでの活動をもとにして自分たちにできることを考えて実践する。 ・絵本作り・他学級，他学年，保護者への発表・河川敷のクリーン活動・新聞作成	

守ろう！ぼくらのふるさと 江戸川・三番瀬 ～第5学年「いのち」～

市川市立妙典小学校

活動のねらい

- ・川や海に棲む生物や環境，それらの保護に携わる人々について知り，身の回りの自然や生命に関心・愛着を持つ。
- ・川や海に棲む生物や環境について調べる活動を通して環境や生命の大切さ，尊さに気づく。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
課題に ふれる つかむ	①インゲン豆，トウモロコシ，イネを育てる。(理科) ②絶滅危機に瀕した植物が多くあること，その原因が河川工事にあることを知る。(国語科) ③メダカの飼育をする。(理科)											
追究 する		④地域の和菓子屋さんとの関わり(4学年時)から，小豆を育てる。(総合) ⑤地域の和菓子屋さんを訪問し，小豆の育て方に関する情報を集める。(総合)	⑥江戸川・三番瀬のクルージングを通して江戸川，海の様子や命の存在を体感する。(総合)	⑦夏休みに小豆についての個人研究を行う。 ⑧夏休みに交代で小豆の世話をする。	⑨夏休み後に個人研究発表会を行う。(総合) ⑩市川市動植物園の出前授業を行い，江戸川に棲む生物について詳しく知る。(総合)	⑪地域の魚屋さんによるカツオ・スズキの解体の様子を見学する。(社会科) ⑫小豆を収穫し，調理する。(赤飯・餅・団子・お汁粉・パンなど)(家庭科・総合)	⑬千葉大学生と協力して原種のカブを栽培し，種を採取することで本来の植物のあり方を知る。(総合) ⑭アクアパーク品川を見学し，海に棲む生物について知る。(社会科校外学習)					
まとめ 生かす											⑮これまでの活動をもとにして，「命」についての考えをまとめる。(総合)	